

## 【別添】

### 令和8年度エースバック未来中心放水型スプリンクラー制御盤更新業務仕様書

#### 1 業務名称

令和8年度エースバック未来中心放水型スプリンクラー制御盤更新業務（以下「本業務」という。）

#### 2 業務場所

エースバック未来中心（倉吉市駄経寺町2-1-5）

（別添1-1、1-2）参照 スプリンクラー制御盤・手元盤設置位置図

（別添2）放水型スプリンクラー制御盤・手元操作部写真を参照

#### 3 委託期間

契約締結日から令和9年3月31日まで

#### 4 業務概要

防災センターに設置されている放水型スプリンクラー制御盤および館内7箇所に設置されている手元操作盤を更新するもの。

#### 5 業務内容

##### （1）放水型スプリンクラー制御盤の更新

以下一覧に示した制御盤及び手動操作部の撤去及び新設を行うもの。

No.	設置場所（盤名称）	機器名・寸法	台数	備考
-	防災センター自立盤	放水型スプリンクラー制御盤	1	特注品
①	梨記念館1階入口 （梨ホール）	放水型スプリンクラー手動操作部	1	4回線式 （元形式 GEK-AA4）
②	アトリウムロッカー室2 （アトリウム1階・梨導入展示室）	〃	1	5回線式 （元形式 GEK-AA5）
③	運営事務室横 （アトリウム1階）	〃	1	4回線式 （元形式 GEK-AAW4）
④	アトリウムロッカー室1 （エントランス）	〃	1	1回線式 （元形式 GEK-AAW1）
⑤	小ホール客席下手側 （小ホール客席）	〃	1	〃
⑥	小ホール客席上手側 （小ホール客席）	〃	1	〃
⑦	2階クローク （アトリウム2階・ホワイエ）	〃	1	3回線式 （元形式 GEK-AA3）

なお、（別添3-1、3-2、3-3）放水型 SP 制御盤更新機器図面（既設制御盤姿図・既設制御盤回路図・既設手動操作部姿図を参考にエースバック未来中心の職員（以下「施設担当職員」という。）と協議の上、機器仕様を検討すること。（※既設の制御盤および手元操作盤はホーチキ製）

##### （2）試験・確認

更新後、制御装置の試験・動作確認を行い、正常に動作しているか確認を行うこと。

#### 6 業務完了時の提出書類及び検査

本業務完了後、5日以内又は令和9年3月16日のいずれか早い日までに業務完了通知書を提出し、その日から10日以内又は令和9年3月25日のいずれか早い日までに検査を受けること。

#### 7 成果品

業務完了時に、次の事項を記載した完成図書を1部、成果品として提出すること。（併せてPDF等の電子データをメール等で発注者に提出すること。）

(完成図書)

- ・完成図（システム系統図、配線図）
- ・作業写真（作業着手前、作業中、作業完了後）
- ・試験成績書
- ・保証書

## 8 業務実施に当たっての留意事項

### (1) 施工に必要な資格

受注者は、消防用設備に関する専門知識を有し、それらの作業に熟練した者に設置・調整作業等を行わせること。

### (2) 諸法令に定める所定の手続き等

受注者は、諸法令に定める所定の手続を適正に行うこと。

### (3) 作業日の指定

作業日は、施設担当職員と調整を行なって決定すること。

### (4) 機材等

本業務に使用する機材等は、現地調査を行った上で選定し、作業前に発注者の確認を受けること。

### (5) 既設品の処分等

取り外した既設の機器・配線等及び作業時の発生材については搬出し、関係法令に従い適正に処分すること。

### (6) 既存部分損傷等対応

搬入・搬出の各種作業及び点検・調整に伴い既存部分を損傷等した場合は、速やかに発注者及び施設担当職員に報告し、既成にならない補修すること。

### (7) 不具合対応

発注者が実施する検査を終了した後1年間は、受注者の責任と認められる不良箇所が発生したものについては、受注者の負担で対応すること。それ以外のものについては、発注者及び施設担当職員と別途協議し決定すること。

## 9 その他

(1) 業務実施に当たっては、発注者及び施設担当職員と十分調整を図ること。

(2) やむを得ない事情により、本仕様書の変更を必要とする場合には、あらかじめ発注者と協議の上、承認を得ること。

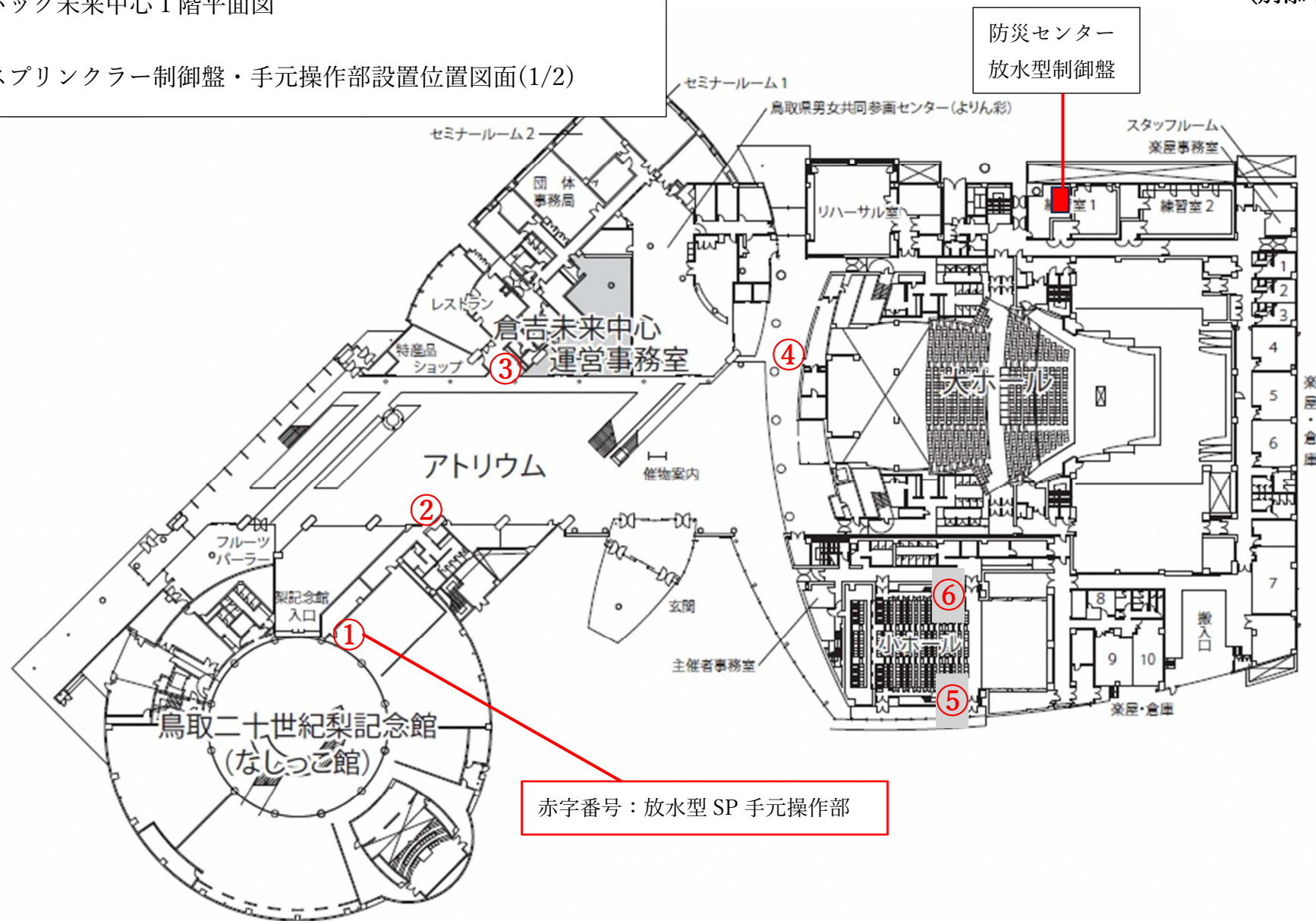
(3) 成果品に係る著作権は発注者に帰属すること。

(4) 本仕様書に記載されていない事項については、発注者の指示に従うこと。

エースパック未来中心 1階平面図

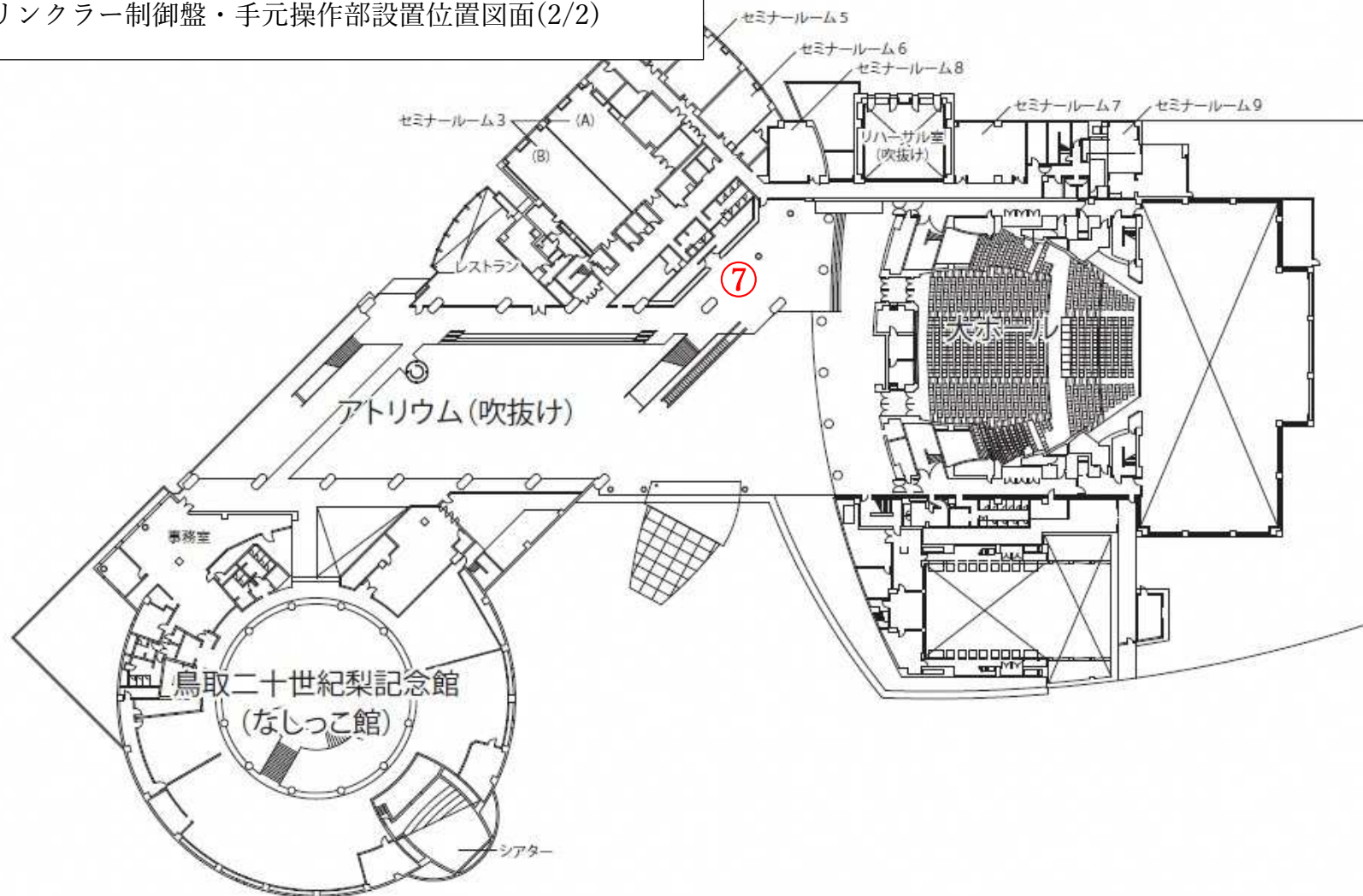
放水型スプリンクラー制御盤・手元操作部設置位置図面(1/2)

(別添 1-1)



エースパック未来中心 2階平面図

放水型スプリンクラー制御盤・手元操作部設置位置図面(2/2)

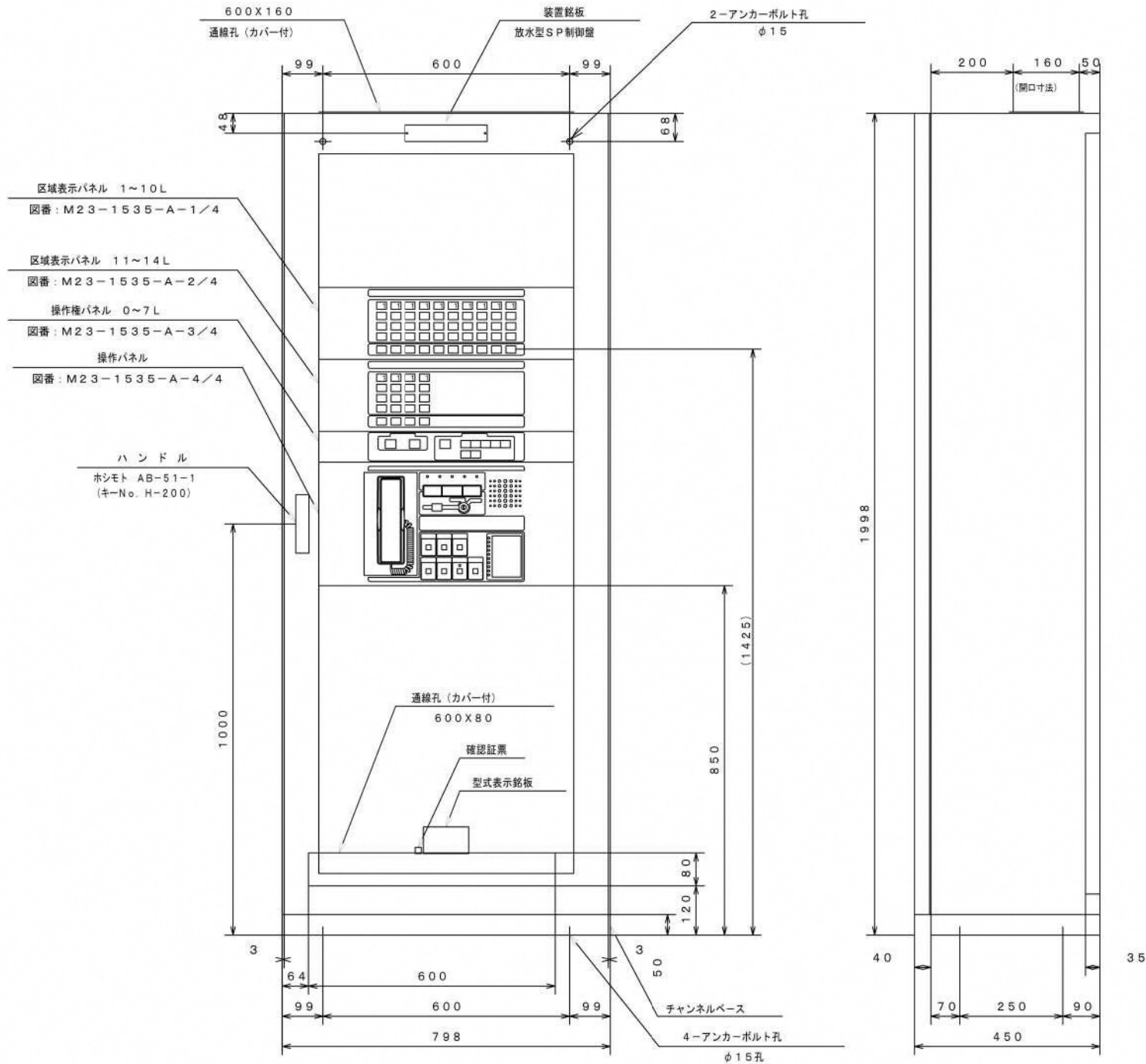


エースパック未来中心 放水型スプリンクラー制御盤・手元操作部写真

防災センター	制御盤 放水型(左)・開放型(右)	手元操作部①カバー開	①梨館入って左手
			
手元操作部②	②アトリウムロッカー室2	手元操作部③	③運営事務室横
			
手元操作部④	④アトリウムロッカー室1	手元操作部⑤	⑤小ホール客席下手側
			
手元操作部⑥	⑥小ホール客席上手側	手元操作部⑦	⑦2階クローク
			

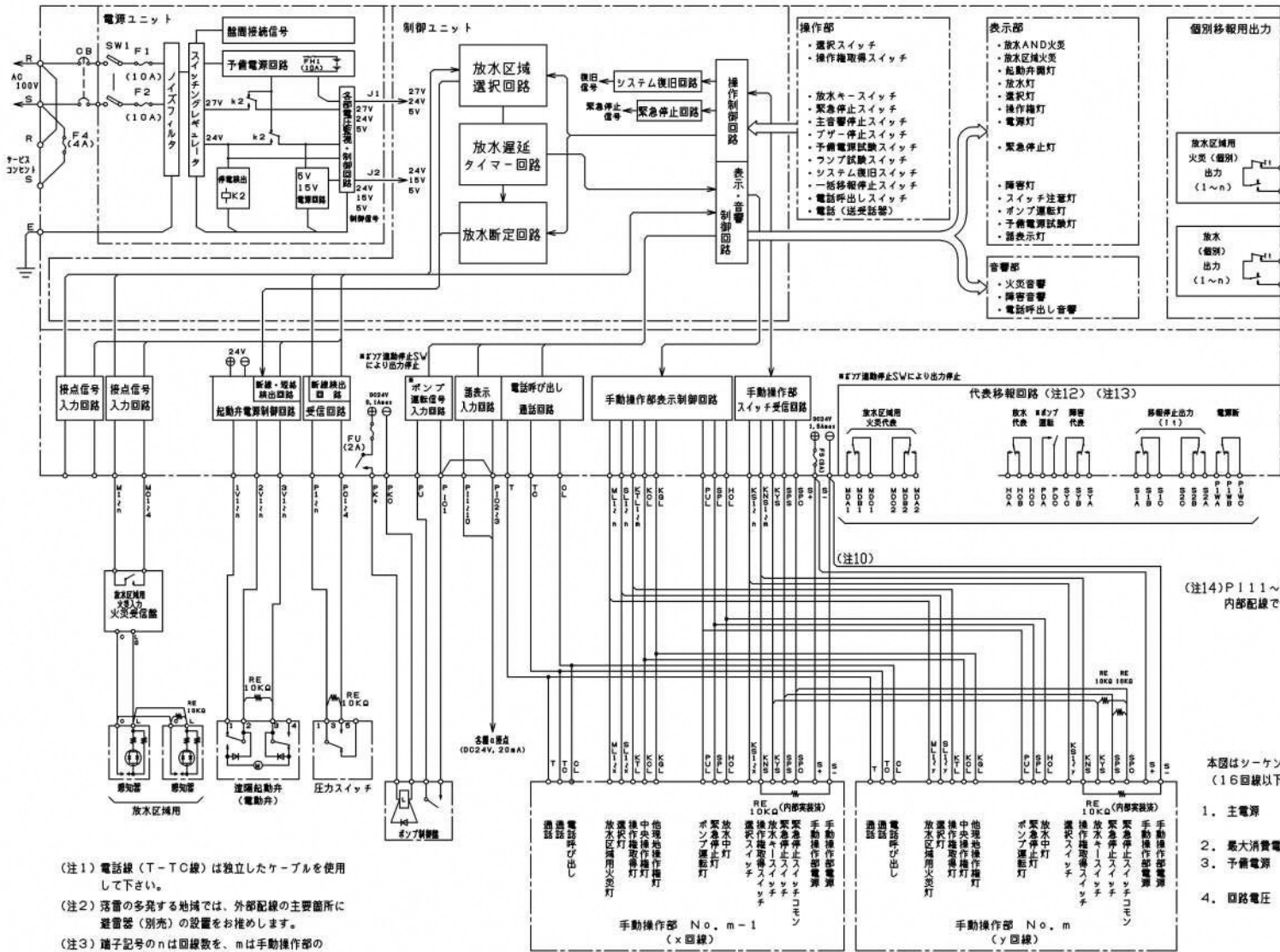
【別添3-1】 放水型SP制御盤更新機器図面

(既設制御盤姿図)



仕様	
種別	固定式ヘッド (小型ヘッド)
試験番号	号 S010C001 (1号評価)
主電源	源 AC100V, 50/60Hz (非常電源受電)
最大消費電流	380VA
予備電源	源 DC24V, 3.5Ah (補償時間約60秒)
充電方式	トリクル充電
主音	警ブザー DC24V, 25mA
材質	鋼板製 板厚 1.6mm 焼付塗装 背板は亜鉛メッキ鋼板製 (塗装無し)
色彩	扉・本体 マンセル値 2.5Y9/1 (半つや) 近似色 操作及び表示パネル マンセル値 5Y6/0.5 (3分つや) 近似色
質量	約210kg
使用温度	0~40℃

【別添3-2】放水型SP制御盤更新機器図面（既設制御盤回路図）



端子記号表					
手動操作部 No. m			放水型SP制御盤		
端子台名称	端子記号	端子名称	端子台名称	端子記号	端子名称
GEK通信ユニット	ML1~y	放水区域用防火灯	電源用端子	R	入力電源
	SL1~y	濃釈灯	S	E	アース
	KTL	操作権取得灯	火災受信線用入力端子	M1~n	放水区域用火災入力
	KOL	中央操作権灯	ポンプ運転灯	MO1~4	
	KGL	他現場操作権灯	緊急停止灯		遠隔起動(電動弁)制御
	PUL	ポンプ運転灯	濃釈灯		
	SPL	緊急停止灯	放水灯		
	HOL	放水灯	濃釈スイッチ	1V1~n	
	KS1~n	操作権取得スイッチ	操作権取得スイッチ	2V1~n	
	KNS	放水キースイッチ	緊急停止スイッチ	3V1~n	
	KYS	緊急停止スイッチ	ポンプ運転灯	P1~n	圧力スイッチ
	SPS	緊急停止スイッチ	緊急停止スイッチ	PO1~4	
	SPD	緊急停止スイッチ	ポンプ制御	PK+	ポンプ起動出力(有電圧DC24V)
	CL	電話呼び出し	制動	PKO	
	T	電話	制動	PU	ポンプ運転入力
	TO		制動	P101	
	S+	手動操作部電源	制動	P11~10	濃釈表示入力用端子
	S-		制動	P101~P104	濃釈表示出力(注14)
			制動	MOA1, 2	放水区域用火災代表出力
			制動	MOB1, 2	
			制動	MO1, 2	
			制動	HOA	放水代表出力
			制動	HOB	
			制動	HOC	
			制動	PDA	ポンプ運転出力
			制動	PDO	
			制動	SYO	降音代表出力
			制動	SYB	
			制動	SYA	
			制動	S1A, S2A	移報停止出力
			制動	S1B, S2B	
			制動	S1C, S2C	
			制動	P1WA	電断出力
			制動	P1WB	
			制動	P1WC	
			制動	M1A~MnA	放水区域用火災(個別)出力
			制動	H1A~HnA	放水(個別)出力
			制動	H01~H04	出力
			制動	CL	電話呼び出し
			制動	T	電話
			制動	TO	
			制動	ML1~n	放水区域用防火灯
			制動	SL1~n	濃釈灯
			制動	KTL1~n	操作権取得灯
			制動	KOL	中央操作権灯
			制動	KGL	他現場操作権灯
			制動	PUL	ポンプ運転灯
			制動	SPL	緊急停止灯
			制動	HOL	放水灯
			制動	KNS1~n	濃釈スイッチ
			制動	KYS1~n	操作権取得スイッチ
			制動	KYS	放水キースイッチ
			制動	SPS	緊急停止スイッチ
			制動	SPC	緊急停止スイッチ

- (注1) 電話線(T-T線)は独立したケーブルを使用して下さい。
- (注2) 落雷の多発する地域では、外部配線の主要箇所に避雷器(別売)の設置をお勧めします。
- (注3) 端子記号のnは回線数、mは手動操作部の番号を表します。
- (注4) 端子記号のx, yは手動操作部の受け持ち放水区域数を表します。
- (注5) は分岐配線を示します。
- (注6) は送り配線を示します。
- (注7) は各手動操作部との1対1の配線を示します。

- (注8) 放水型SP用火災受信機AND火災入力は最大16点です。
- (注9) 本放水型SP制御盤は内部に感知器受信回路を内蔵しておらず、火災受信機(放水AND用、放水区域用)は別途必要です。
- (注10) S+, S-の端子は手動操作部の台数分用意されています。手動操作部電源S+, S-の配線は、送り配線しないで下さい。
- (注11) 手動操作部"KNS"と"S-"間の終端抵抗"RE=10KΩ"は内部に実装済みです。

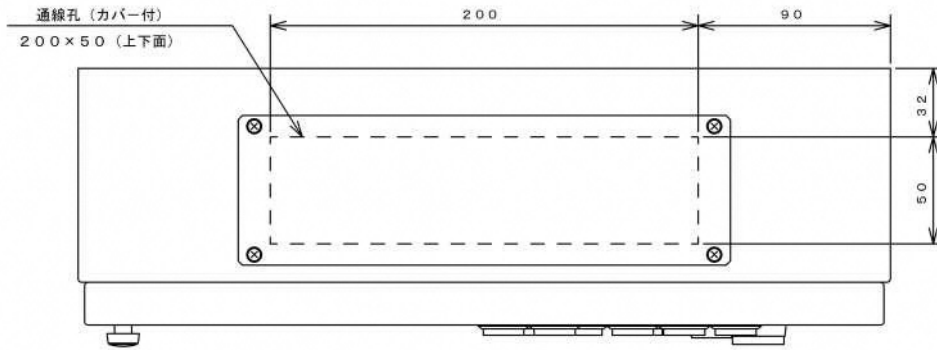
- (注12) 一括移報停止スイッチにより、停止する移報出力は以下の信号のみです。
  - ・放水区域用感知器火災代表信号
  - ・放水代表信号
  - ・降音代表信号
  - ・ポンプ運転信号
- (注13) I+は一括移報停止スイッチを示します。

(注14) P111~112, MAS2, MAS3, PIC4は内部配線で使用しますので、接続しないでください。

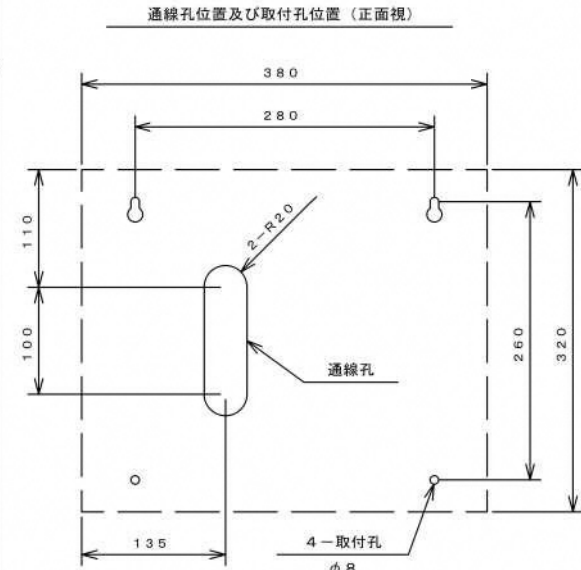
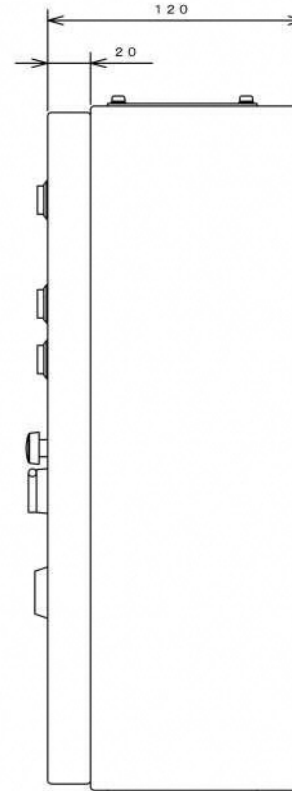
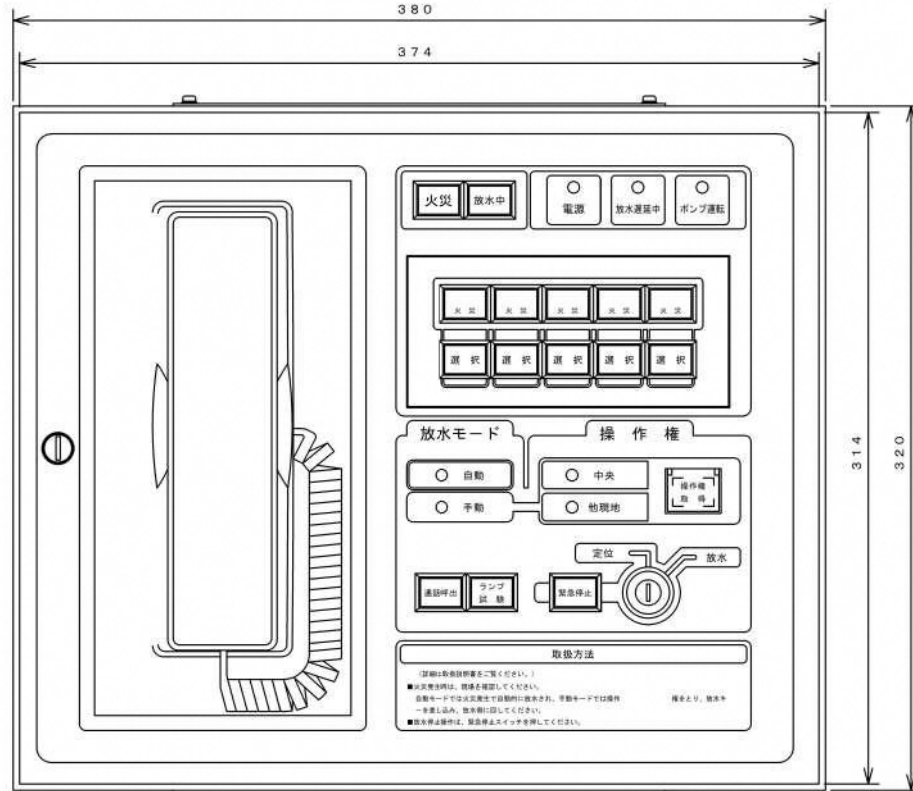
本図はソーセナーを使用した放水型SP制御盤(16回線以下)の基本回路を示し、主な仕様は以下の通りです。

1. 主電源 AC100V±10% 50/60Hz (非常電源受電)
2. 最大消費電力 380VA
3. 予備電源 DC24V ニッケルカドミウム蓄電池 3, 5Ah (補償時間約60分間)
4. 回路電圧 DC24V

【別添3-3】放水型SP制御盤更新機器図面  
(既設手元操作部姿図)



名称	点灯色	種別	備考
火災	R	表示灯	
放水中	R	表示灯	
電源	G	表示灯	
放水遅延中	R	表示灯	
ポンプ運転	R	表示灯	
火災 (小)	R	表示灯	
選択	G	SW, 表示灯	
放水モード 自動	G	表示灯	
放水モード 手動	R	表示灯	
操作権 中央	G	表示灯	
操作権 他現地	G	表示灯	
操作権 操作権取得	G	SW, 表示灯	
通話呼出	-	SW	
ランプ試験	-	SW	
緊急停止	R	SW, 表示灯	



No.	商品記号	区域数
1	GEK-AAW1	1
2	GEK-AAW2	2
3	GEK-AAW3	3
4	GEK-AAW4	4
5	GEK-AAW5	5

取扱方法詳細

取扱方法

(詳細は取扱説明書をご覧ください。)

- 火災発生時は、現場を確認してください。
- 自動モードでは火災発生で自動的に放水され、手動モードでは操作一を差し込み、放水側に回してください。
- 放水停止操作は、緊急停止スイッチを押してください。

権をとり、放水キ

※本図は、GEK-AAW5を示した図面です。

既設型式 (GEK-AAW●) における「●」は 当該手元操作部の回線数を示すものである。

仕様

種別 固定式ヘッド (小型ヘッド)  
 試験番号 S010M001 (1号評価)  
 定格 DC24V  
 使用温度 0~40℃  
 材質 鋼板製 板厚 1.6mm  
 焼付塗装  
 色彩 マンセル値 5Y6/0.5  
 (3分つや) 近似色  
 質量 約10Kg